

**記録書 No.1**  
(2014 年 04 月 01 日 ~ 2014 年 04 月 10 日)

2014 年 04 月 11 日  
乃村研究室 B4  
藤田 将輝

0. 前回ミーティングからの指導・指摘事項

- (1) 他人に対してのご指導やご指摘を自身への事としてとらえる .

[4/2, メール, 乃村先生]

1. 実績

1.1 研究関連

- (1) 2014 年度 New グループ新 B4 課題に関する項目

(A) Fedora14 のインストール	(100 % , +100 %)
(B) Linux カーネルの再構築	(100 % , +100 %)
(C) Linux カーネルへのシステムコールの実装	(0 % , +0 %)
(D) システムコールの実装の手順書作成	(0 % , +0 %)
(E) Mint の構築	(90 % , +90 %)

1.2 研究室関連

- |                             |         |
|-----------------------------|---------|
| (1) 新 B4 歓迎会                | (04/01) |
| (2) 平成 26 年度新 B4 向け Git 勉強会 | (04/03) |
| (3) 乃村研究室ミーティング             | (04/04) |
| (4) 乃村研お花見                  | (04/04) |
| (5) 第 248 回 New グループ打ち合わせ   | (04/09) |

1.3 大学・大学院関連

- |                         |         |
|-------------------------|---------|
| (1) 平成 26 年度岡山大学・大学院入学式 | (04/08) |
|-------------------------|---------|

2. 詳細および反省・感想

2.1 研究関連

- (1A) 実験用計算機の 3 つのハードディスクに Fedora14 をインストールした . インストールの流れを理解するために, インストールの手順を再確認する .

- (1B) 実験用計算機に Mint のベースである Linux-3.0.8 をインストールした．OS への理解を深めるために, bzImage が OS においてどのような役割を果たすかについて調べる．
- (1E) 実験用計算機に Mint を構築している．複数の OS を同時に起動することで課題の達成となる．現時点では 3 つ同時に起動ができていない．3 つ目の OS の起動に関するデバイス占有の仕組みを調べることを今後の課題とする．

## 2.2 研究室関連

- (2) Git 勉強会に参加した．先輩方の丁寧な説明を聞く事と, 実際に使ってみる事で Git への理解が深まった．バージョン管理ツールは開発において重要な役割を果たすため, 資料を読み返し復習する．
- (3) 乃村研究室ミーティングに参加した．初めてのミーティングでは B4 は記録書は作成せず, 口頭で自分の近況を報告した．ミーティングの流れを理解した．
- (4) 乃村研究室で花見をした．研究室の方々と親睦を深められた．

## 3. 今後の予定

### 3.1 研究関連

- (1) 2014 年度 New グループ新 B4 課題に関する項目
  - (A) Linux カーネルへのシステムコールの実装 (04/18)
  - (B) システムコールの実装手順書の作成 (04/18)
  - (C) Mint の構築 (04/11)

### 3.2 研究室関連

- (1) クレオファーガ交流会 (04/18)
- (2) 第 249 回 New グループ打ち合わせ (04/21)

### 3.3 その他

研究室に配属されたばかりで自分の知識の無さを実感するばかりである．今後に向けて OS や英語の知識を養っていく．頼れる先輩方や, 同期がいるというとても良い環境に置かれているため積極的に学ぶ．また, 上下関係やマナーについても身に着けていくことを目標とする．楽しみながら研究を進める．